

2025年5月23日

株式会社ヘッドウォータース  
(コード番号：4011 東証グロース)

デリバリーコンサルティングと協業  
～データリテラシーエンジニアリングを基盤に  
AI エージェントの導入効果を最大化するための支援サービスを開始～



AI ソリューション事業を手掛ける株式会社ヘッドウォータース（本社：東京都新宿区、代表取締役：篠田 庸介、以下「ヘッドウォータース」）は、データリテラシー（※1）の向上を通じてデータドリブンカンパニーへの変革を支援する株式会社デリバリーコンサルティング（本社：東京都港区、取締役 CEO：内藤 秀治郎、以下「デリバリーコンサルティング」）と協業し、企業のデータリテラシーを可視化・改善する「データリテラシーエンジニアリング」（※2）を基盤に、AI エージェントの導入効果を最大化するための支援サービスを開始いたします。

#### ■協業の背景

近年、企業の DX 推進において、生成 AI を活用した業務効率化や高度な意思決定支援の重要性が高まっています。特にこうした取り組みでは、企業が保有する膨大なデータを適切に整理・統合し、AI エージェントで活用することが効果を最大化する鍵となります。

AI エージェントは、従来の AI では対応が難しかった複雑なタスクを自律的に処理し、業務の自動化・効率化を実現します。これにより業務精度の向上とコスト削減に加え、さらに AI エージェントを 24 時間稼働させることで対応力や業務の継続性を高めるなど、DX 推進への貢献が期待されています。

一方で、多くの企業が「データはあるが活用できない」「AI 導入後も精度が出ない」「データ活用スキルを持つ人材が不足している」といった課題に直面しています。こうした課題を解決するには、データを正しく理解し、活用する力——すなわちデータリテラシーの向上が不可欠です。

こうした課題解決と企業が持つデータ活用基盤の強化に向けて、ヘッドウォータースとデリバリーコンサルティングは協業を開始いたしました。

## ■協業概要

両社は、企業のデータリテラシーを向上させながら、AI エージェントの実運用における効果を最大限に引き出すため、以下の包括的な支援を行います。

- ①データリテラシー診断：組織のデータ活用力を多角的に可視化し、課題を明らかにします。
- ②育成施策の設計と実施：業務に即した教育プログラムを設計し、実践的な研修を提供します。
- ③AI エージェント活用設計：データ統合と業務プロセスの連携設計・運用を支援します。
- ④定着支援：定着に向けた活用制度の設計と評価指標の整備を支援します。

## ■両社の役割

### 【デリバリーコンサルティング】

データリテラシーエンジニアリングを通じて、研修設計から制度化、データ戦略の接続までを体系的に整備し、組織のデータ活用力を高めます。

### 【ヘッドウォータース】

独自の「SyncLect AI エージェント」（※3）を基盤に、柔軟なカスタマイズと豊富な実績を活かした業務特化型 AI ソリューションを提供し、現場への定着を支援します。

## ■代表者コメント

・株式会社デリバリーコンサルティング 取締役 CEO 内藤 秀治郎

生成 AI を業務に活かすには、ツールとしての導入にとどまらず、それを支える“組織の土壌”をどう育てるかが重要です。

当社はこれまで、業務プロセスの再設計やデータ活用の内製化支援を通じて、企業の変革力そのものを高めることに取り組んできました。ヘッドウォータース社との協業により、同社の先進的な AI エージェント技術と、当社のデータマネジメント・人材育成ノウハウが融合します。

両社で目指すのは、“AI が企業文化として根つき、現場の意思決定や創造性を自然に支える世界”です。私たちは、この実現に向けて、より一層実務とテクノロジーをつなぐ役割を果たしてまいります。

・株式会社ヘッドウォータース 代表取締役 篠田庸介

生成 AI の急速な進化により、企業が AI エージェントを活用する機会は飛躍的に拡大しています。しかし、その真価を最大化するには、データの統合・整理や、現場の“データリテラシー向上”が不可欠です。

このたび、データ活用のプロフェッショナルであるデリバリーコンサルティング様と手を携え、AI エージェントの活用支援サービスを提供できることを、大変心強く感じております。

我々ヘッドウォータースは、AI 技術の社会実装において「人」と「現場」に寄り添うことを最も大切にしていまいりました。本協業を通じて、単なるシステム導入に留まらず、企業の文化として“AI が定着する未来”を共に創造してまいります。

## ■今後について

ヘッドウォータースとデリバリーコンサルティングは、AI エージェントとデータリテラシーの活用支援を軸に、企業の DX 推進とデータ利活用高度化を支援するサービスの拡充に取り組んでまいります。

なお、本件による当社の当期業績に与える影響は軽微であります。今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上

※1：データリテラシーとは

データリテラシーとは、データを正しく理解・分析し、課題解決や意思決定に活用する能力を指します。単にデータを読み取るだけでなく、データに基づいて論理的に考え、適切なアクションを導き出す力を含みます。企業においては、データリテラシーの向上が業務効率化や競争力強化、DX 推進において重要な基盤となります。

※2：データリテラシーエンジニアリングについて

<https://service.deliv.co.jp/feature>

※3：SyncLect AI エージェントについて

[https://www.headwaters.co.jp/news/synclect\\_ai\\_agent\\_release.html](https://www.headwaters.co.jp/news/synclect_ai_agent_release.html)

## ■商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

## ■会社情報

会社名：株式会社デリバリーコンサルティング

所在地：東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー23 階

代表者：取締役 CEO 内藤 秀治郎

設立：2003 年 4 月

URL：<https://www.deliv.co.jp/>

会社名：株式会社ヘッドウォータース

所在地：〒163-1304 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 4階

代表者：代表取締役 篠田 庸介

設立：2005年11月

URL：<https://www.headwaters.co.jp>

■本件のお問い合わせ先

株式会社ヘッドウォータース

メール：[info@ml.headwaters.co.jp](mailto:info@ml.headwaters.co.jp)